

る万る千市民の台所

今年の予算を四ページから九ページにわたってお知らせします。一般会計予算は、昨年度当初と比べ、七千八百万円(一・三%)増の六十二億三千八百万円となっております。みなさんからの税金・国や県からの支出金などで得た財源を、有効に使おうと、いろいろ考えながら配分し、四つの柱を基本に予算を組んでいます。①生活環境整備の整備 ②市民福祉と健康の増進 ③教育環境の充実 ④産業の振興がそれです。そのため人件費、物件費などの消費的経費を押さえ、学校建設や道路整備などをはじめとする投資的経費を増やした積極投資型の予算となっております。



安全で住みよい快適なまち

▷市道の整備▷都市下水道工事の90%達成▷浄水場跡地に児童公園を設置▷119番の一本化▷第3次農業振興計画の策定▷転作対策指導プロジェクトチーム誕生

市道の整備に力をそそいでいきます

道路はまちの動脈といわれ、大切な役割をになっています。これまでにも市道の整備を積極的に進めてきました。今年度も引き続き力を入れていきます。市道の整備状況は、五十五年三月末現在で延長二百七十一・九キロ、改良率は四七・六%。舗装された距離は百七十七キロ、舗装率は四三%となっております。

今年度は、公共事業として古川・諏訪木線一・一キロを継続事業で改良。茨曾根・兎新田線を改良、舗装します。市単独事業として六十路線四・五キロを改良、四十四路線七・一キロを舗装します。農道整備事業では、戸石・庄瀬線四・一キロを継続改良。赤洗・笠巻線

都市下水道の整備は九〇%に

都市下水道工事は、五十四年度終了地点からさらに百八十メートルを着手します。これにより都市下水道(西幹線排水路)の整備率は約九〇%となります。また、同水路の排水能力を増強するポンプ一台の増設と、排水路沿いの市道の整備も行います。

街路整備は、用地補償を主体に六千万円を計上、引き続き事業を進めていきます。

浄水場跡地に児童公園を設置

子どもたちの遊び場と、市民の憩いの広場を確保するため、公園整備を毎年進めています。五十四年度までに、児童公園を六か所設置しました。今年度は

油剤・乳剤を無料配布

清潔で住みよい環境づくりに、前年と同じく油剤、乳剤の無料配布と、ゴミの不法投棄をなくすパトロールを強化します。公害では、未然防止に巡回指導の強化、担当職員の技術習得、低利な公害防止資金の融資を行います。

小型ポンプの購入 防火水槽・消火栓を増設

火事を出さないことはもちろんですが、早期発見と早期通報が消火活動の最大の決め手。そのため、火災予防の心がまえと、器具の点検、安全指導の徹底に取り組みます。消防施設では、小型ポンプ四台を購入するほか、防火水槽と消火栓を増やします。

緊急事態の対応に 一一九番の一本化

火災の発生や緊急事態にすばやく対応できるよう、一一九番の一本化を行います。いままでですと、市内には白根局、新飯田局、月瀧局、大野局、南新瀧局があって、いろいろ不都合な面がありました。これを一一九番のみ一本化することで、直接、白根地区消防本部につながります。

なお、大野局、南新瀧局はこれまでどおり黒崎、新瀧の消防署につながり、無線で白根地区消防本部に通報されます。

第三次農業振興計画の策定を

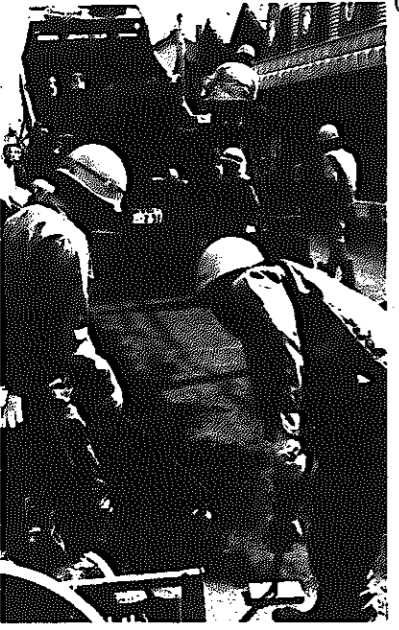
これからは、地域の実情にあった「地域農業づくり」が大切です。そのため、地域農政特別対策事業を引き続き推進してい

農業青年の海外派遣に補助金を出します

農業の担い手の育成は、いままで行ってきた事業のほかに、農業青年の海外派遣事業に補助金を出します。農民の健康管理や、組織活動の強化にも、対策をたて実施していきます。

転作対策指導プロジェクトチームを編成

三年目を迎えた水田利用再編対策事業。今年度も、大幅な転作面積が配分されました。このため、転作対策指導プロ



▶広聴会でも道路整備の要望がいっぱい。今年も力を入

一般会計予算

歳入	△=減 (単位=千円)		
	55年度当初予算額	昨年度当初予算額	伸び率
市税	1,523,817	1,224,484	24.4%
地方譲与税	64,000	46,000	39.1%
自動車取得税交付金	45,000	35,000	28.6%
地方交付税	1,270,000	1,224,000	3.8%
交通安全対策特別交付金	4,000	5,000	△20.0%
分担金及び負担金	116,039	86,827	33.6%
使用料及び手数料	37,194	24,269	53.3%
国庫支出金	1,019,745	850,445	19.9%
県支出金	299,815	295,423	1.5%
財産収入	1,983	22,033	△91.0%
寄附金	2	2	0%
繰入金	190,000	100,000	90.0%
繰越金	30,000	1	大幅増
雑収入	259,805	270,316	△3.9%
市債	1,376,600	1,976,200	△30.3%
合計	6,238,000	6,160,000	1.3%

歳出	△=減 (単位=千円)		
	55年度当初予算額	昨年度当初予算額	伸び率
一般会費	91,361	76,830	18.9%
総務費	536,202	575,177	△6.8%
民生費	1,062,175	997,795	6.5%
衛生費	375,804	228,258	64.6%
労働費	18,800	15,850	18.6%
農林水産業費	449,322	473,324	△5.1%
商工費	259,790	307,768	△15.6%
土木費	901,279	725,398	24.2%
消防費	143,043	126,118	13.4%
教育費	1,782,386	2,192,605	△18.7%
災害復旧費	6	6	0%
公債償還費	615,831	439,870	40.0%
雑支出金	1	1	0%
予備費	2,000	1,000	100%
合計	6,238,000	6,160,000	1.3%

市民1人に使われる市の金 (人口33,583人) 185,749円

総額 185,749円	教育費 53,074円	民生費 31,628円	土木費 26,837円	総務費 15,967円	農林水産業費 13,380円	衛生費ほか 44,863円
-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	--------------------------	-------------------------

市民1人が負担する税金 (人口33,583人) 45,374円

総額 45,374円	固定資産税 19,510円	市民税 18,809円	たばこ消費税 3,187円	電気税ほか 3,868円
----------------------	-------------------------	-----------------------	-------------------------	------------------------

1世帯当りに使われる市の金 837,315円
1世帯当たりが負担する税金 204,539円